

# 神奈川県社保協ニュース

神奈川県社会保障推進協議会【NO. 18-3】2018年8月31日発行

横浜市中区桜木町3-9平和と労働会館6F TEL045-201-3900・FAX045-212-5654



辺野古新基地建設の中止

## 9.30 沖縄県知事選勝利への支援をすすめよう!!

8月29日、玉城デニー衆院議員は那覇市内で記者会見し、辺野古新基地阻止の一点で結集した「オール沖縄」の候補者として、沖縄県知事選（9月13日告示、30日投票）への出馬を正式に表明しました。玉城氏は「ウチナーンチュ（沖縄県民）が心をつにしていたかう時には、想像するよりもはるかに大きな力になる」。「翁長知事の遺志を引き継ぎ、辺野古新基地建設阻止を貫徹する立場だ」と表明しました。また、翁長県政が進めてきた沖縄の経済振興、県民の暮らし向上の施策をさらに前進させると強調しました。



翁長氏がなにより誠実に、断固守りぬいてきたのは、「オール沖縄」の原点となる「建白書」の立場です。2013年に県内の全市町村長や議会議長が署名をして安倍内閣に提出された「建白書」は、米軍輸送機オスプレイの配備撤回、米軍普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設の断念を求めたものです。ここには保守や革新の違いを超えた県民の切実な思いが結実しています。

翁長県政は4年間、基地に頼らない振興策を追求し、観光客を大幅に伸ばすなど県経済を好調にしてきました。県として「子どもの貧困対策推進基金」をつくり、学用品代や給食費、修学旅行費などを支援する就学援助を充実させてきました。全国知事会が7月に日米地位協定の抜本的見直しの提言を初めて全会一致で決議しました。そこには翁長県政がドイツ、イタリアで現地調査などを行い、日本の主権侵害の異常な実態を示した報告書が大きく影響しています。沖縄だけでなく、日本にとってかけがえのない県政を何としても継続させる必要があります。

選挙戦は辺野古新基地建設を最大争点に、玉城氏と、安倍政権と自民・公明などの全面支援を受ける佐喜真淳氏（前宜野湾市長）との事実上の一騎打ちです。安倍首相は「極めて重要な選挙」と全力の対応を自民党役員会で指示するなど政権ぐるみの総力戦の構えを見せています。翁長氏の遺志に逆らい、新基地建設を推進する勢力に負けるわけにはいきません。全国が心をつにし、玉城氏勝利を待ちとる支援をすすめようではありませんか。

## 出足早く、社会保障拡充の取り組みをすすめよう!!

県社保協がかかげるこの秋の運動の重点は、右の4点です。地域社保協を中心に市町村に対して、国保・介護保険などの改善を求める要望書の提出がすすめられています。2倍化反対の意見書採択を求める陳情は、三浦市、藤沢市、茅ヶ崎市などに提出されており、県への請願は9月中旬に行う予定です。

- ①国保・介護保険などの改善を求めて県・市町村への要請と懇談の推進
- ②75歳以上の医療費2倍化反対の宣伝・署名行動の推進
- ③県・市町村議会に向けて、75歳以上の医療費2倍化反対の意見書採択を求める陳情書提出
- ④後期高齢者医療の保険料不服審査請求運動の推進

# 昨年を倍する規模で「不服審査請求のつどい」を開催！！

後期高齢者医療の保険料「不服審査請求のつどい」は、8月22日の相模原での開催を皮切りに、右表のとおり、県内17カ所（さらに行われる様相）で取られます。8月中に7カ所で行われましたが、すでに昨年の参加者数129名を上回っています。

神奈川県今年の保険料は、1人平均2,590円引き下がりましたが、年額9万円にもなり、全国で2番目に高い水準にあります。「保険料が高すぎる」「下げてほしい」の声を上げていきましょう。

	日時	地域	会場
1	8月22日(水) 14:00	相模原	相模原市民会館
2	8月23日(木) 13:30	鎌倉	NPO大船
3	8月28日(火) 13:30	相模原	陽光台公民館
4	8月28日(火) 13:30	西湘	尊徳記念館301号室
5	8月29日(水) 14:00	茅ヶ崎・寒川	茅ヶ崎市コミュニティセンター
6	8月30日(木) 10:00	川崎南部	教育文化会館第7会議室
7	8月30日(木) 13:30	川崎中・北部	テクノかわさき第1・2研修室
8	9月1日(土) 14:00	藤沢	藤沢診療所
9	9月3日(月) 10:00	横浜・全域	年金者組合事務所
10	9月3日(月) 13:30	横浜・磯子	磯子公会堂3F第1会議室
11	9月4日(火) 10:00	横浜・南	南センター
12	9月4日(火) 10:00	平塚	平塚民商
13	9月5日(水) 10:30	横浜・港北	大倉山共同センター
14	9月6日(金) 14:00	三浦半島	横須賀市産業交流プラザ
15	9月6日(木) 10:00	横浜・北部	みどり野診療所
16	9月11日(火) 10:00	横浜・戸塚	年金者組合戸塚支部
17	9月19日(水) 13:00	県央	海老名総合福祉会館

## もっと大きく広げよう!! 相模原「不服審査請求のつどい」

相模原の「不服審査請求のつどい」が、8月17日相模原市民会館で、年金者組合、民商、民医連、社保協から29人が参加して開催されました。

最初に、根本・県社保協事務局長による「不服審査請求とは・・・」について学習をしました。参加者から、「この運動の目的は高すぎる保険料には耐えられないという意思表示をすることだとわかった」。また、「今年度は何人ぐらいだす予定か？世論を高めるための行動ならば、もっと多くの方が不服申請するようにしなければダメだ。昨年の112人は少なすぎる。今年もっと多くの人に声掛けをしていく」。「今年保険料が一人平均2,590円下がったことは、長年続けてきた私たちの運動成果であることが理解できた」と運動を推進する決意と感想がだされました。

不服申請書の作成では、「請求人が妻の場合はどうなるのか、これから75歳になるのだが今回出しても良いか」「交付日はいつにするのか」等の質問に、相模原社保協の役員が丁寧に説明しながら一緒に申請書を完成させていました。「説明文だけでの記入は難しいが、隣に知っている人がいたので安心して記載できた」の声もあり、会場で10名が申請書を提出しました。

参加者からは、「相模原地域で200人分は集めたい」。「75歳以上医療費窓口2割化反対の行動に地域のお医者さんが一緒に頑張っていると聞いて嬉しくなった」。「不服申請が良く分からないので夫婦でお話を聞き良く分かりました。家で書類を作成し届けます」。「とても勉強になる集会でした、多くの地域で集いを開催したいですね」との声が出されたつどいとなりました。相模原社保協では、8月28日とさらに一回開催する予定です。



### 神奈川県後期高齢者医療審査会への不服「審査請求書」の提出行動

9月18日(火) 13:30~14:30

日本大通7ビル801会議室(8階)

## 8.30 後期高齢者2倍化反対宣伝行動、署名37筆!!

残暑がまだまだ厳しい8月30日16:00から伊勢佐木町モールで行われた、2回目の「後期高齢者医療費窓口負担2倍化に反対」署名行動には「われわれもだまってはおれん」と17名が参加しました。高齢期運動連会事務局長の大河原貞人さんの司会により、リレートークし、宣伝・署名行動を行ないました。

保険医協会から医師4名と事務局員2名が参加、野本哲夫先生は、東日本大震災被災地域で、窓口負担がなかったので多くの人命を守ることができた、医療費窓口負担ゼロが命を守り、国全体の医療費削減ができることを訴えました。

二村哲先生は、命の重さをお金で量るものではない、国民の命と健康は誰もが平等である。沢内村などでの自治体が先進的に取り組んでいた、老人医療費助成制度が運動により10年間ではあったが、高齢者の医療費無料化ができた運動の重要性について話しました。

宮澤軌昭先生は、治療の例を挙げ、今2000円で診察できるものが2倍になると4000円となり、お金が心配で受診をひかえ、病状が悪化しての受診となり、治療代が大幅に増えてしまう。窓口負担の2倍化は決して医療費の削減にはならないなど、窓口負担が1割から2割になると患者さんにどのような影響が出るのか医療現場から詳しくお話ししました。

年金者組合の田中久さんは、請願署名の趣旨について説明し、署名へのご協力を訴えました。佐藤長世さん（横浜社保協）、片倉博美さん（神奈川県民医連）からも、医療費の窓口負担2倍化反対の訴えをしました。署名37筆を集めることができました。伊勢佐木町の宣伝行動は、9月末も行う予定です。



訴える  
野本先生



署名をすすめる  
二村先生

### 「県広域連合議会」県社保協の陳情を不採択に!!

8月29日に、県後期高齢者医療広域連合議会が開催されました。県社保協は、「後期高齢者の医療費窓口負担2割化の検討を中止し、原則1割負担の継続を求める意見書提出」の陳情書を提出しましたが、陳情は「不採択」とされました。

広域連合議会の議員定数は20人。日本共産党の白井正子議員（横浜市）が陳情に賛同の発言をしましたが、他の議員からはなんらの発言もなく、「不採択」に同意しました。

議会として不採択とした理由は、なんら明らかにされていませんが、広域連合長（福田川崎市長）は「全国広域連合協議会が要望を出しているので神奈川県は出さない」と答弁しています。まったく答えになっていません。

傍聴は、県社保協からの参加者など全体で18人ほどでした。2割化反対の宣伝・署名をおおきく広げ、県・市町村議会に意見書採択を求める運動をすすめていきましょう。



# 県に「生活保護利用者等の熱中症に関する緊急対策の申入れ」

8月7日、神奈川県に、県社保協と高齢期運動連絡会の連名で、右記の内容で熱中症緊急対策について申し入れました。7月31日に、民医連が神奈川県に申し入れたことを受け、緊急申し入れをしました。

対応者は、政策局調整監の関根正明さん。こちらから、県としての対策と市町村に申し入れの趣旨を伝えていただきたいと要請しました。県からの話しは、以下のとおり。

- 熱中症対策申し入れは、民医連と2件。
- 生活保護利用者に、生活援護課を通じて徹底する。
- 対象を4月以降としているのはおかしい。すべての利用者を対象にすべきだ。
- 生活保護利用者から範囲を広げるとなると独自予算が必要で時間がかかる。
- みなさんからの申し入れの内容を受け止め、検討させていただきたい。

同日、三浦の医療と福祉を守る会が、早速三浦市に申し入れしました。

- ①6月27日の厚労省通知に該当する生活保護利用者にその内容を周知徹底し、必要な対象者には可及的速やかにエアコン設置ができるように支援すること。
- ②2018年3月までに生活保護の利用を開始し、エアコンを所有していない人に対しても上記の通達が適応されるように政府に対して緊急の要望を行うこと。
- ③厚労省通知では、世帯内に「熱中症予防が特に必要とされるもの」として、「高齢者、障害（児）者、小児及び難病患者並びに被保護者の健康状態や住環境等を総合的に勘案」とあることから、生活保護利用者に準じてエアコン購入費などの補助を行うこと。
- ④厚労省通知に該当しない場合でも、神奈川県としてエアコン設置のための生活資金の緊急貸付を行うなど人命最優先の対策を講じること。
- ⑤社会福祉協議会による生活資金貸付制度の運用について、緊急事案については審査会の回数を増やすなどして貸付が速やかに行われるようにすること。
- ⑥エアコンが設置されたとしても、電気代が止められる、電気代が払えずにエアコンが使用されない事例が生じているから、そうした事態が生じないよう緊急支援対策をはかること。

## ＜9月の主な行動・会議日程＞

- 9月1日（土） 神生連50周年のつどい 12:00 市従会館ホール
- 9月5日（水） 県社保協第3回常幹 14:00 建設プラザ3F会議室
- 9月6日（木） 第46回中央社会保障学校 13:30 ピアザ淡海ホール（9/8まで）
- 9月7日（金） 知事選勝利・沖縄連帯神奈川集会 18:30 建設プラザ2Fホール
- 9月9日（日） 神奈川労連定期大会 10:00 建設プラザ2Fホール  
全日本民医連共同組織活動交流集会 13:00 パシフィコ横浜（～9月10日12:30）
- 9月11・12日 全県一斉宣伝行動・西湘地域キャラバン行動
- 9月12日（水） 中央社保協運営委員会・介護障害部会 10:00 日本医労連会議室
- 9月13日（木） 消費税廃止県各界連総会 18:30 神商連会議室
- 9月14日（金） 県社保協第3回幹事会 14:00 保険医協会会議室
- 9月15日（土） 税と社会保障一体改革反対・全県一斉宣伝行動（この日を中心に）
- 9月17日（月） 9条かながわ大集会 10:00 厚木市文化会館
- 9月18日（火） 後期高齢者医療保険料不服審査請求書の提出 13:30 日本大通7ビル801会議室
- 9月21日（金） 神奈川年金違憲訴訟口頭弁論 14:00 東京地裁
- 9月23日（日） 神奈川県・横須賀母親大会 10:00 横須賀市文化会館
- 9月26日（水） 神奈川生存権裁判口頭弁論 11:30 横浜地裁
- 10月1日（月） 県社保協医療保険改善委員会 14:00 神商連会議室